

(別紙4(2))

事業所名グループホームほうじょう

目標達成計画

作成日: 令和元年 12月 18日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	20	馴染みの人や場との関係継続の支援 回想法に繋げていかれると良い。	・その人の馴染みの人、場所を回想法にて楽しく思い出し関係性の継続に繋げる。	・月1回の住民集会で季節行事を振り返る中で、写真、映像を見るなどして回想法も繋げる。また、回想法から馴染みの人、場所への関心を強くする事で行事参加、外出への意欲を高めていく。 ・再度ご家族にその方が輝いていた時代の写真、品物を依頼して回想法に繋げる。 ・ご家族の協力を得て、個別に馴染みの場所への外出支援へ繋げていく。	12ヶ月
2	23	思いや意向の把握 思い、意向や希望から利用者本人の生きがいに繋がる目標を設定されると良い。	・出来る事の維持、継続にて自信や達成感に繋げ、趣味を生かした支援にて楽しみや生きがいに繋げていく。	・自分の思いを伝える事が困難な方も多く、日頃の関わりの中で言葉や表情を察し思いを汲み取っていく。 ・本人の日々の生活の中で、出来る事に目を向けプランに反映することで、利用者本位の支援に努める。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。